
Ⅲ

実施概要

Ⅲ. 実施概要

1. 募集方法

令和7年7月に、県内123ヶ所の医療機関（診療センター・診療所含む）、142ヶ所の訪問看護ステーション、68ヶ所の介護老人保健施設（以下、老健）、125ヶ所の特別養護老人ホーム（以下、特養）、62ヶ所の地域密着型サービス指定事業所、10ヶ所の保健所、32ヶ所の市町村、全562施設へ研修案内を送付した。

研修案内には、「多施設合同新人看護職員研修」「多施設合同教育担当者・指導者研修」のそれぞれについて、目的、対象者、日時、研修プログラム内容の詳細を明記した。今年度も昨年度にひきつづき、各研修プログラムを全6日間とし、そのうち一つのテーマを「多施設合同新人看護職員研修」「多施設合同教育担当者・指導者研修」の合同研修として同一日時に開催した。

参加申し込みには、Microsoft Formsにて作成した申込み専用入力フォームを使用し、参加者氏名、職種等を記載し、病院施設毎に取りまとめて申し込んでいただいた。

表Ⅲ-1 研修案内発送状況

研修案内発送施設	発送数
医療機関（診療センター・診療所含む）	123
訪問看護ステーション	142
介護老人保健施設	68
特別養護老人ホーム	125
地域密着型サービス指定事業所	62
保健所	10
市町村	32

2. 各研修における受講者数と受講者所属施設数

令和7年度岩手県保健福祉部医療政策室委託事業「新人看護職員研修事業」（令和7年7月23日受託）は、令和7年8月26日から12月15日において開催した。受講者は43名（欠席者等を含む）、受講施設は18施設であった。

1) 受講者数と受講者所属施設数

(1) 受講者数

受講者の総数は43名で、多施設合同新人看護職員研修に25名、多施設合同教育担当者・

指導者研修に18名の参加があった。

表Ⅲ－2 受講者数

研 修 区 分		受講者数
総 数		43名
内 訳	多施設合同新人看護職員研修	25名
	多施設合同教育担当者・指導者研修	18名

(2) 受講者所属施設数

受講施設は18施設で、内訳は医療機関17施設、地域密着型サービス指定事業所が1施設であった。

受講施設の内訳を見ると、毎年継続して受講している施設が複数あるほか、毎年新人を採用しない小規模の施設からの受講もあった。

表Ⅲ－3 受講施設数

研 修 区 分		施設数
総 数		18施設
内 訳	多施設合同新人看護職員研修のみ受講	7施設
	多施設合同教育担当者・指導者研修のみ受講	8施設
	両研修の受講	3施設

2) 研修区分別研修内容と受講者数

(1) 多施設合同新人看護職員研修

表Ⅲ－4 多施設合同新人看護職員研修内容と受講者数

開催日	時間数	プログラム名	受講者数
8月26日 (火)	5	ストレス・マネジメント	15名
9月11日 (木)	2.5	看護師として必要な基本姿勢と看護倫理	22名
	2.5	患者安全と医療安全	
9月26日 (金)	2	【新人看護職員・教育担当者・指導者合同研修】 病院（施設）と在宅を円滑につなぐ看護師の役割	20名
	3	高齢者のケア	

開催日	時間数	プログラム名	受講者数
10月27日 (月)	3	スキンケア	22名
	2	信頼関係を築くコミュニケーション	
11月11日 (火)	2	呼吸・循環器系のフィジカルアセスメント	23名
	3	心電図の基礎知識 急変時の対応	
12月4日 (木)	2.5	院内感染対策に関する基礎知識	23名
	2.5	自身の成長と課題を振り返る (リフレクション)	

(2) 多施設合同教育担当者・指導者研修

表Ⅲ-5 多施設合同教育担当者・指導者研修内容と受講者数

開催日	時間数	プログラム名	受講者数
8月29日 (金)	5	看護基礎教育の現状	18名
9月9日 (火)	5	新人看護職員研修のカリキュラムの設計と効果的な運用方法	18名
9月26日 (金)	2	【新人看護職員・教育担当者・指導者合同研修】 病院（施設）と在宅を円滑につなぐ看護師の役割	18名
	3	指導者に求められるコーチングスキル	18名
10月30日 (木)	2	ストレス・マネジメント	18名
	3	対話文化の醸成をめざす医療メデイエーション	17名
11月21日 (金)	2	組織として人を育てる	17名
	3	アンガーマネジメントの基本と新人教育への活用	17名
12月15日 (月)	5	自施設の新人教育をリフレクションする	18名

3. 受講者の状況

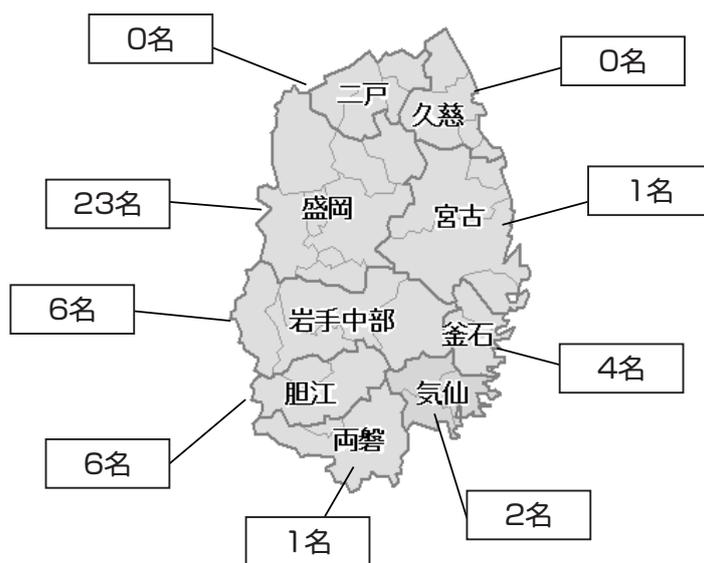
1) 医療圏別における受講状況

県内9つの医療圏ごとに参加状況（表Ⅲ-6、図Ⅲ-1）を集計した。昨年度に引き続き、本年度も集合形式の研修となったが、盛岡医療圏を中心に県内のほとんどの医療圏からの参加がみられた。

表Ⅲ-6 各医療圏別受講者数

上段：施設数 下段（ ）内：受講者数

研修名称	施設総数 (受講者総計)	岩手県医療圏別内訳								
		盛岡	岩手中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸
多施設合同 職員の研修 新人看護	10 (25)	6 (15)	1 (2)	1 (4)	0	0	2 (4)	0	0	0
多施設合同 教育担当者・ 指導者研修	11 (18)	5 (8)	1 (4)	2 (2)	1 (1)	1 (2)	0	1 (1)	0	0



図Ⅲ-1 岩手県医療圏ごとの受講者数（全体）

地図のみ <http://www.med-info.pref.iwate.jp/imin2/kikan/searchKyujitsuTobani.do> より転写

2) 病床規模別および設置主体別による受講状況

(1) 受講者所属施設および設置主体

(地域密着型サービス指定事業所1施設を除く)

表Ⅲ-7 病床規模別、設置主体別の受講状況一覧 上段：施設数 下段()内：受講者数

研修名称	(受講者総数) 施設総数	病床規模別内訳					設置主体別内訳	
		100床未満	100床以上 200床未満	200床以上 300床未満	300床以上 400床未満	400床以上	国・公的医療機関	医療法人等
多施設合同 新人看護 職員研修	9 (24)	3 (6)	4 (13)	1 (2)	1 (3)	0	2 (5)	7 (19)
多施設合同 教育担当者・ 指導者研修	11 (18)	4 (5)	2 (3)	4 (9)	1 (1)	0	3 (3)	8 (15)

3) 各研修受講者の職種等に係る内訳

(1) 多施設合同新人看護職員研修

昨年度に引き続き、看護師資格のみならず准看護師の資格を有する者が多施設合同新人看護職員研修を受講した。本研修の対象は、「新人看護職員」であり、准看護師の受講も受け付けているが、看護師と准看護師の養成課程における基礎教育の内容は異なっており、卒業時の継続教育への学習レディネスが異なることも考えられる。そのため、それぞれに対して同一の研修内容を提供することの矛盾はこれまでと同様に存在する。一方で、本研修のプログラムは、ストレスマネジメントや看護倫理、コミュニケーションなど、それぞれが持つ資格に関わらず「新人看護職員」として共通して学ぶべき内容が充実している。今後も現状の制度を踏まえ、全ての「新人看護職員」にとって有益な内容となるよう検討し、研修を継続していきたい。

また、地域包括ケアシステムにおける多職種連携を推進するねらいから、昨年度に引き続き「病院（施設）と在宅を円滑につなぐ看護師の役割」をテーマに新人看護職員と教育担当者・指導者の合同研修を開催した。近年、在宅医療が推進される状況であることから、有意義な機会であったと考える。

表Ⅲ-8 多施設合同新人看護職員研修 職種別受講状況

職種	受講者数
保健師	0名
助産師	1名
看護師	23名
准看護師	1名
総数	25名

(2) 多施設合同教育担当者・指導者研修

昨年度に引き続き、今年度も「教育担当者・指導者研修」として統一した内容で開催した。受講者を経験年数別にみると、5年以上10年未満が最も多く、10年以上20年未満、20年以上30年未満、30年以上は同数であった。

役職別では看護師長、主任看護師、副主任看護師が4割程度、スタッフが6割程度であり、新人教育における役割別ではほとんどが実地指導者か教育担当者であった。

近年、経験年数5年未満および5年以上10年未満の受講者が増えていること、役職がないスタッフの受講が増えていることから、新人看護職員の育成を役職がある者だけで行うのではなく、組織全体で行うことが定着してきていると考えられる。

表Ⅲ-9 多施設合同教育担当者・指導者研修における職種、経験年数、役職、役割別受講状況

1. 職種	受講者数	3. 役職	受講者数
保健師	0名	看護部長・総看護師長	0名
助産師	1名	副看護部長・副総看護師長	0名
看護師	17名	看護師長	2名
准看護師	0名	師長補佐・副師長	0名
計	18名	主任看護師	4名
2. 経験年数	受講者数	副主任看護師	1名
5年未満	1名	スタッフ	11名
5年以上～10年未満	8名	計	18名
10年以上～20年未満	3名	4. 役割（複数回答）	受講者数
20年以上～30年未満	3名	実地指導者	7名
30年以上	3名	教育担当者	10名
計	18名	研修責任者	1名
		教育責任者	0名
		延べ	18名

(執筆担当 高岩 奈津美)